



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 名

上場会社名 太陽化学株式会社

コード番号 2902 URL <http://www.taivokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援担当兼企業統括部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

平成27年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,384	8.3	1,518	42.6	1,493	19.8	1,008	29.1
27年3月期第2四半期	18,820	4.1	1,064	△7.3	1,246	△3.4	781	△5.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 889百万円 (△27.5%) 27年3月期第2四半期 1,226百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	51.97	—
27年3月期第2四半期	39.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	42,479	34,122	77.9
27年3月期	41,864	33,850	78.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 33,089百万円 27年3月期 32,789百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	18.00	26.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,200	5.1	2,680	17.1	2,670	△4.3	2,010	18.8	104.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	23,513,701 株	27年3月期	23,513,701 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	4,268,145 株	27年3月期	3,935,495 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	19,406,178 株	27年3月期2Q	19,578,383 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和政策等を背景に、企業業績の好転や雇用情勢の改善により、景気は緩やかな持ち直しの傾向にあります。海外では、中国経済の減速感や欧州諸国の財政問題等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、消費税率引き上げ後の個人消費が伸び悩み、節約志向が続く中、円安による輸入原材料の高騰や物価の上昇などにより、経済環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上による持続的な発展を目指して、諸施策に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、203億84百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

営業利益は、飲料用途の乳化剤及びサプリメント用途の機能性食材の売上が増加したこと等により、15億18百万円（前年同四半期比42.6%増）、経常利益は、為替相場の変動による為替差損の計上はありましたものの、14億93百万円（前年同四半期比19.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、関係会社太陽食品（天津）有限公司の持分譲渡による特別利益の計上等により、10億8百万円（前年同四半期比29.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

## ■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内の健康食品用途、医療用途が順調に推移いたしました。欧米市場の医療用途は低調となりました。

カテキン（緑茶抽出物）は、米国市場のサプリメント用途が伸張いたしました。国内の飲料用途は低調となりました。

ミネラル製剤は、国内、アジア市場が堅調に推移いたしました。欧州市場は低調となりました。

テアニン（機能性アミノ酸）は、国内市場の新規採用が進み、米国市場のサプリメント用途も伸張し、大幅に増加いたしました。

ビタミン製剤は、国内市場が増加いたしました。

この結果、売上高は、37億60百万円（前年同四半期比12.4%増）、営業利益は、5億79百万円（前年同四半期比53.3%増）となりました。

## ■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品・トイレタリー業界等に、乳化剤、安定剤等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

乳化剤は、一般食品用途が堅調に推移いたしました。化粧品用途、トイレタリー用途及び飲料用途は、大幅に増加いたしました。

安定剤は、医療食用途が減少し、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は、68億27百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は、8億61百万円（前年同四半期比29.2%増）となりました。

## ■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、粉末卵、液卵加工品ともに伸張いたしました。

即席食品用素材は、伸張いたしました。

フルーツ加工品は、パン用途が増加いたしました。

この結果、売上高は、97億17百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は、78百万円（前年同四半期比361.4%増）となりました。

## ■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、79百万円（前年同四半期比65.7%増）を計上いたしました。当期から新規に参入した事業の売上を計上しており、営業損失は、0百万円となりました。（前年同四半期は、3百万円の営業利益を計上しております。）

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して6億15百万円増加して、424億79百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加10億96百万円、商品及び製品の増加1億60百万円、原材料及び貯蔵品の増加4億84百万円、投資その他の資産のその他の増加8億76百万円、現金及び預金の減少16億13百万円、投資有価証券の減少1億68百万円です。

また、負債は前連結会計年度末に比較して3億43百万円増加して83億57百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加7億21百万円、賞与引当金の増加1億3百万円、短期借入金の減少1億30百万円、流動負債のその他の減少3億46百万円です。

純資産は前連結会計年度末に比較して2億71百万円増加して341億22百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益10億8百万円の計上、自己株式の増加による減少2億91百万円、配当金の支払による減少3億52百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.3%から77.9%となりました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

#### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,009,161	4,395,187
受取手形及び売掛金	9,639,621	10,736,204
商品及び製品	3,268,222	3,428,961
仕掛品	335,303	353,355
原材料及び貯蔵品	2,923,208	3,407,948
その他	606,795	611,456
貸倒引当金	△20,608	△34,417
流動資産合計	22,761,704	22,898,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,969,434	4,814,937
土地	6,037,279	6,036,081
その他(純額)	2,638,673	2,566,704
有形固定資産合計	13,645,386	13,417,723
無形固定資産		
のれん	61,373	53,246
その他	249,981	255,105
無形固定資産合計	311,354	308,352
投資その他の資産		
投資有価証券	3,781,014	3,612,216
その他	1,383,164	2,259,848
貸倒引当金	△17,950	△16,950
投資その他の資産合計	5,146,228	5,855,114
固定資産合計	19,102,970	19,581,189
資産合計	41,864,675	42,479,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,871,799	5,593,648
短期借入金	130,807	-
未払法人税等	494,860	483,691
賞与引当金	238,696	341,755
その他	1,265,562	919,502
流動負債合計	7,001,727	7,338,597
固定負債		
退職給付に係る負債	113,204	125,356
役員退職慰労引当金	335,175	362,874
その他	563,904	530,453
固定負債合計	1,012,283	1,018,684
負債合計	8,014,010	8,357,281
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,674	7,918,674
利益剰余金	19,199,416	19,928,721
自己株式	△3,533,436	△3,825,031
株主資本合計	31,315,276	31,752,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,035,699	966,976
繰延ヘッジ損益	△12,055	△2,923
為替換算調整勘定	463,680	384,172
退職給付に係る調整累計額	△13,069	△11,267
その他の包括利益累計額合計	1,474,255	1,336,957
非支配株主持分	1,061,133	1,032,661
純資産合計	33,850,664	34,122,604
負債純資産合計	41,864,675	42,479,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,820,201	20,384,565
売上原価	15,042,651	15,960,869
売上総利益	3,777,549	4,423,696
販売費及び一般管理費	2,713,075	2,905,530
営業利益	1,064,473	1,518,166
営業外収益		
受取利息	17,718	21,856
受取配当金	22,514	24,040
為替差益	131,250	-
助成金収入	10,130	-
その他	53,828	26,367
営業外収益合計	235,442	72,264
営業外費用		
支払利息	13,777	9,446
貸与資産減価償却費	7,234	3,511
為替差損	-	28,420
持分法による投資損失	30,514	20,801
租税公課	-	31,139
その他	2,026	3,864
営業外費用合計	53,553	97,183
経常利益	1,246,362	1,493,247
特別利益		
固定資産売却益	29,003	1,043
関係会社出資金譲渡益	-	86,613
特別利益合計	29,003	87,656
特別損失		
固定資産除売却損	25,780	9,777
特別損失合計	25,780	9,777
税金等調整前四半期純利益	1,249,585	1,571,126
法人税等	408,970	506,487
四半期純利益	840,615	1,064,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	59,142	56,076
親会社株主に帰属する四半期純利益	781,473	1,008,562

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	840,615	1,064,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244,388	△86,780
為替換算調整勘定	118,105	△111,964
退職給付に係る調整額	2,123	1,801
持分法適用会社に対する持分相当額	21,308	21,897
その他の包括利益合計	385,926	△175,046
四半期包括利益	1,226,541	889,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,145,103	871,264
非支配株主に係る四半期包括利益	81,438	18,328

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフー ド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,345,344	6,248,587	9,178,262	18,772,194	48,006	18,820,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,345,344	6,248,587	9,178,262	18,772,194	48,006	18,820,201
セグメント利益	377,721	666,745	16,935	1,061,402	3,071	1,064,473

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフー ド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,760,046	6,827,590	9,717,406	20,305,043	79,522	20,384,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,760,046	6,827,590	9,717,406	20,305,043	79,522	20,384,565
セグメント利益又は損 失(△)	579,059	861,258	78,139	1,518,457	△290	1,518,166

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。